



2022 年 7 月 29 日

2022 年度 第 2 四半期 決算レポート

1-6 月累計実績（対 2021 年 1-6 月）

- ・ 売上収益は 10.7%増の 1 兆 2,668 億円
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 3.7%増の 1 兆 1,420 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 8.0%増の 3,867 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 15.8%増の 4,149 億円
- ・ 営業利益は 18.9%増の 3,830 億円
- ・ 四半期利益は 17.3%増の 2,641 億円
- ・ 中間配当は、当初予定通り 75 円

2022 年今回見込（対当初見込）

- ・ 売上収益については 1,710 億円の上方修正
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 310 億円の下方修正
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 140 億円の上方修正
- ・ 営業利益及び当期利益はそれぞれ 150 億円及び 60 億円の上方修正
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 460 億円の上方修正
- ・ 1 株当たりの年間配当は 150 円と当初予定から変更なし

財務数値の詳細については P.13「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“JT グループは、引き続き従業員とその家族の安全を最優先としつつ、ウクライナで困難に直面している方々に対して継続して可能な限りのサポートを行っております。

JT グループの上期実績は、たばこ事業における堅調なプライシングに牽引され非常に力強いものとなりました。日本市場における Ploom X は HTS*カテゴリー内シェアも順調に伸張しております。日本における知見を活かし、2022 年下期から Ploom X の海外市場での上市を順次実施して参ります。

2022 年度の通期業績見込については、資源価格高騰、インフレによるコスト上昇等により、為替一定ベースの調整後営業利益は下方修正しましたが、円安の影響により財務報告ベースの調整後営業利益及び当期利益は上方修正致しました。今回の通期業績予想及び当社の株主還元方針を踏まえ、1 株当たり年間配当金予想は当初予想通り 150 円とし、中間配当は 75 円といたします。

ロシア・ウクライナ情勢が長期化、複雑化する中、第 1 四半期決算時にもお伝えした通り、ロシア市場におけるたばこ事業の運営のあり方については当社グループ経営からの分離を含めた選択肢の検討を継続しております。経営理念である「4S モデル」**に則った意思決定を行っていくことにより、この難局に対処して参ります。”

* heated tobacco sticks

** JT グループの経営理念である「4S モデル」の追求は、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の 4 者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4 者の満足度を高めていく」という考え方です。私たちは、「4S モデル」の追求を通じ、中長期に亘る持続的な利益成長の実現を目指しています。この「4S モデル」を追求していくことが、企業価値の継続的な向上につながり、4 者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信しております。

投資家説明会

投資家説明会は、2022年7月29日、東京時間 18時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度、2022 年度実績及び 2022 年度見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。なお、イラン及びスーダンに加え、2022 年度第 2 四半期よりトルコを含んでいます。

主要な指標における本調整の影響につきましては、下記をご参照ください。

全社/たばこ事業 実績

売上収益	: +178億円
調整後営業利益	: -40億円
四半期利益	: -114億円

2022 年度 第 2 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2022 年 4-6 月	2021 年 4-6 月	増減率	2022 年 1-6 月	2021 年 1-6 月	増減率
売上収益	6,853	5,972	+14.8%	12,668	11,445	+ 10.7%
調整後営業利益	2,200	1,801	+22.1%	4,149	3,582	+ 15.8%
営業利益	2,046	1,620	+26.3%	3,830	3,221	+ 18.9%
四半期利益	1,400	1,114	+25.6%	2,641	2,252	+ 17.3%
為替一定ベース core revenue	5,950	5,741	+3.6%	11,420	11,010	+3.7%
為替一定ベース 調整後営業利益	2,006	1,801	+11.4%	3,867	3,582	+8.0%

2022 年 4-6 月

- 売上収益**
 売上収益については、全ての事業において増収したことにより、前年同期比 14.8%増の 6,853 億円となりました。為替一定ベースの core revenue は、前年同期比 3.6%増の 5,950 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、たばこ事業及び医薬事業での増加により、前年同期比 11.4%増の 2,006 億円となりました。財務報告ベースでは、円安によるポジティブな為替影響により、前年同期比 22.1%増の 2,200 億円となりました。
- 営業利益**
 営業利益については、調整後営業利益の増加により、前年同期比 26.3%増の 2,046 億円となりました。
- 四半期利益**
 四半期利益については、金融損益が悪化したものの、営業利益の増加により、前年同期比 25.6%増の 1,400 億円となりました。

2022 年 1-6 月

- 売上収益**
 売上収益については、全ての事業において増収したことにより、前年同期比 10.7%増の 1 兆 2,668 億円となりました。為替一定ベースの core revenue は、前年同期比 3.7%増の 1 兆 1,420 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、たばこ事業及び医薬事業での増加により、前年同期比 8.0%増の 3,867 億円となりました。財務報告ベースでは、円安によるポジティブな為替影響により、前年同期比 15.8%増の 4,149 億円となりました。
- 営業利益**
 営業利益については、調整後営業利益の増加により、前年同期比 18.9%増の 3,830 億円となりました。
- 四半期利益**
 四半期利益については、金融損益が悪化したものの、営業利益の増加により、前年同期比 17.3%増の 2,641 億円となりました。

事業別実績

たばこ事業

(億円)	2022 年 4-6 月	2021 年 4-6 月	増減率	2022 年 1-6 月	2021 年 1-6 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	6,032	5,195	+16.1% (+3.7%)*	11,053	9,926	+11.3% (+3.6%)*
調整後営業利益	2,278	1,904	+19.6% (+9.5%)*	4,251	3,727	+14.1% (+6.5%)*
参考 (億本、億円)						
総販売数量	1,342	1,367	-1.8%	2,628	2,637	-0.4%
Combustibles 販売数量	1,322	1,349	-2.0%	2,587	2,602	-0.6%
RRP 販売数量	21	18	+13.6%	40	35	+14.5%
RRP 関連売上収益	201	200	+0.6%	391	386	+1.4%

*為替一定円ベース 対前年同期増減率

2022 年 4-6 月

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、継続的な市場シェアの伸張、ポジティブな為替影響及び全てのクラスターでポジティブな単価差影響が発現したことにより、前年同期と比べて増加しています。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響 356 億円がネガティブな数量差影響 164 億円を上回ったことにより、前年同期と比べて 16.1%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 3.7%増加しています。RRP 関連売上収益は、前年同期比 1 億円の増加となりました。

財務報告ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加により、前年同期比 19.6%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 9.5%増加しています。

・ 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、Global Travel Retail・イラン・ポーランド・トルコを中心に EMA で引き続き増加したものの、Asia 及び Western Europe で減少したことにより、前年同期比 1.8%減少しました。Combustibles 販売数量は、主要市場であるイタリア・日本・フィリピン・ロシア・英国における総需要の減少等により、前年同期比 2.0%の減少となりました。RRP 販売数量は、HTS(heated tobacco sticks)カテゴリ及び日本での Ploom X 発売によるシェアの伸張により、前年同期比 13.6%増加しました。

市場シェアは、イタリア・フィリピン・スペイン・台湾・トルコといった主要市場で引き続き伸張しています。

2022 年 1-6 月

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、継続的な市場シェアの伸張、ポジティブな為替影響及び全てのクラスターでポジティブな単価差影響が発現したことにより、前年同期と比べて増加しています。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響 612 億円がネガティブな数量差影響 257 億円を上回ったことにより、前年同期と比べて 11.3%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 3.6%増加しています。RRP 関連売上収益は、前年同期比 6 億円の増加となりました。

財務報告ベースの調整後営業利益は、HTS カテゴリへの投資を継続的に実施した一方、自社たばこ製品売上収益が増加したことにより、前年同期比 14.1%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 6.5%増加しています。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量は、継続的なシェアの伸張、RRP 販売数量の増加及び EMA で販売数量の増加があったものの、Asia 及び Western Europe の主要市場で総需要が減少したことにより、前年同期比 0.4%の減少となりました。Combustibles 販売数量は、Global Travel Retail・イラン・ミャンマー・ポーランド・ルーマニア・スペイン・トルコを中心に増加したものの、前年同期比 0.6%の減少となりました。RRP 販売数量は、前年同期と比べて 14.5%増加しています。

市場シェアは、イタリア・フィリピン・ルーマニア・スペイン・台湾・トルコといった主要市場で引き続き伸張しています。

たばこ事業 クラスター別 実績

Asia

(億円)	2022 年 1-6 月	2021 年 1-6 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	4,005	3,944	+1.5% (-1.8%)*
調整後営業利益	1,565	1,533	+2.1% (+0.5%)*
参考 (億本)			
総販売数量	632	666	-5.1%

*為替一定円ベース 対前年同期増減率

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期と比べて 1.5%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、フィリピンを中心にポジティブな単価差/商品構成影響が発現したものの、日本を主因としたネガティブな数量差影響により、前年同期比 1.8%減少しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加、ポジティブな為替影響及び日本におけるコストの減少により、前年同期と比べて 2.1%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期と比べて 0.5%増加しました。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にバングラデシュ・日本・フィリピンで減少したことにより、前年同期と比べてそれぞれ 5.1%、4.5%減少しました。市場シェアは、カンボジア・インドネシア・フィリピン・シンガポール・台湾において伸張しました。

- **市場別実績¹**

日本²における総販売数量は、Ploom X 発売によるシェアの伸張により RRP 販売数量が増加したものの、総需要が減少したことにより、前年同期と比べて 8.6%減少しました。市場シェアは、RRP カテゴリ内シェアが増加したものの、Combustibles シェアが減少したことにより、前年同期比 2.8 パーセントポイント減の 42.1%になりました。

Combustibles 販売数量は、Combustibles シェア及び RRP カテゴリの増加に伴う Combustibles 総需要の減少により、前年同期比 11.5%の減少となりました。Combustibles 総需要は、前年同期と比べ 8.0%減少し

たものと推定されています。Combustibles シェアは、低価格帯での競争が継続していることにより、前年同期比 2.3 パーセントポイント減の 57.2%になりました。

RRP 販売数量は、前年同期と比べ 34.0%増加しました。RRP 市場占有率(出荷ベース)は、33.4%と推計しています。RRP カテゴリ内シェアは、前年同期比 2.1 パーセントポイント増の 12.0%になりました。Ploom X の販売数量及び HTS カテゴリ内シェアは、引き続き伸張しています。HTS カテゴリ内シェアは、前年同期比 3.7 パーセントポイント増の 7.4%になりました。

自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

フィリピンにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、22 年 1-3 月期の増税に伴う値上げによる総需要の減少により、前年同期と比べてそれぞれ 8.4%、8.2%減少しました。市場シェアは、22 年 1-3 月期に確認された一時的な競争環境の激化が改善したこと及び Camel、Mighty の伸張により、前年同期比 0.5 パーセントポイント増の 36.6%と推定しています。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年同期と比べ増加しました。

台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要が減少している中、MEVIUS を含むプレミアムセグメントの伸長により、前年同期と比べてそれぞれ 0.8%、0.2%増加しました。市場シェアは、Winston 及び MEVIUS の伸張により、前年同期比 0.6 パーセントポイント増の 48.7%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

Western Europe

(億円)	2022 年 1-6 月	2021 年 1-6 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	2,679	2,606	+2.8% (-1.8%)*
調整後営業利益	1,282	1,229	+4.4% (+1.2%)*
参考 (億本)			
総販売数量	559	589	-5.2%

*為替一定円ベース 対前年同期増減率

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期比 2.8%増加しました。為替影響を除いた場合、英国を中心に発現したネガティブな数量差影響が主にドイツ・英国等で発現したポジティブな単価差/商品構成影響を上回ったことにより、前年同期比 1.8%減少しました。

調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響及び為替影響により、前年同期比 4.4%増加しました。為替影響を除いた場合、前年同期比 1.2%増加しました。

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアが引き続き伸張したものの、渡航制限の緩和により特にフランス及び英国において総需要が減少したことから、前年同期と比べてそれぞれ 5.2%、0.9%減少しました。市場シェアは、ベルギー・フランス・ドイツ・ギリシャ・アイルランド・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸張しました。

- 市場別実績¹

イタリアにおける総販売数量は、前年同期と比べ 3.0%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期と比べ 2.5%増加しました。GFB 販売数量は、Winston が伸張したものの、Combustibles 総需要が減少したことから、前年同期比 1.3%減少しました。市場シェアは、Winston の伸張により、前年同期比 0.9 パーセントポイント増の 27.2%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

スペインにおける総販売数量は、前年同期と比べ 3.9%増加しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、段階的な渡航制限緩和により総需要が回復してきたことにより、前年同期比 8.2%の増加となりました。GFB 販売数量は、引き続き市場シェアが伸張したことにより、前年同期比 0.6%増加しました。市場シェアは、Camel の伸張により、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 28.4%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

英国における総販売数量は、渡航制限緩和により総需要の減少が 22 年 4-6 月期に加速したことから、前年同期と比べ 16.1%減少しました。市場シェアは、Benson & Hedges及び Sterling が伸張したものの、前年同期比 0.6 パーセントポイント減の 45.1%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響がポジティブな単価差/商品構成影響を上回ったことにより、前年同期と比べ減少しました。

EMA

(億円)	2022 年 1-6 月	2021 年 1-6 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	4,369	3,377	+29.4% (+14.0%)*
調整後営業利益	1,404	965	+45.5% (+22.9%)*
参考 (億本)			
総販売数量	1,437	1,383	+4.0%

*為替一定円ベース 対前年同期増減率

- 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、為替影響、Global Travel Retail・イラン・ポーランド・米国を中心に発現した数量差影響及びカナダ・イラン・ルーマニア・ロシア・トルコを中心に発現した単価差/商品構成影響がポジティブに作用したことにより、前年同期と比べてそれぞれ 29.4%増加しました。為替影響を除いた場合、前年同期と比べて 14.0%増加しました。

調整後営業利益は、サプライチェーン関連コストの増加影響があったものの、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響により、45.5%増加しました。為替影響を除いた場合、前年同期と比べて 22.9%増加しました。

- 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にイラン・ポーランド等における増加及び Global Travel Retail の回復基調により、前年同期と比べてそれぞれ 4.0%、5.9%増加しました。市場シェアは、アルジェリア・アゼルバイジャン・ブラジル・カナダ・チェコ・ハンガリー・イラン・カザフスタン・モロッコ・ポーランド・ルーマニア・サウジアラビア・セルビア・南アフリカ・トルコ・米国において伸張しました。

- **市場別実績¹**

ルーマニアにおける総販売数量は、市場シェアが引き続き伸張したことにより、前年同期と比べ 1.6%増加しました。GFB 販売数量は、Winston が牽引し、前年同期と比べ 2.4%増加しました。市場シェアは、Winston 及び Sobranie の伸張により、前年同期比 0.2 パーセントポイント増の 29.7%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

ロシア²における総販売数量は、前年同期と比べ 3.5%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要³が減少したことにより、前年同期比 2.7%の減少となりました。総需要³は、前年同期と比べ 3.6%減少したものと推定しています。市場シェアは、Winston 及び LD の減少により、前年同期比 0.3 パーセントポイント減の 36.4%になりました。

Combustibles 販売数量は、増税に伴う値上げ及び RRP カテゴリの伸長等により Combustibles 総需要が減少したことから、前年同期と比べて減少しました。GFB 販売数量は、Camel が牽引し Combustibles シェアが堅調であったことにより、前年同期と比べて 1.8%増加しました。RRP 販売数量は、Ploom の HTS カテゴリ内シェアが 22 年 1-3 月期と同水準の 4.1%であったものの、RRP カテゴリの伸長により、前年同期と比べて増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

トルコにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要が堅調に推移したこと及び市場シェアが伸張したことにより、前年同期と比べそれぞれ 2.2%、3.1%増加しました。市場シェアは、Winston の伸張により、前年同期比 0.3 パーセントポイント増の 28.0%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、増税及びコスト増加に伴う値上げによるポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

¹ 出典：総需要及びシェアは、IRI、Logista、Nielsen、Panel Strator 及び JT グループ内部データ。シェアは、特に言及がない限り 2022 年 1 月から 6 月までの平均ベースであり、対象は RMC 及び Fine cut tobacco。Snus を除く。6 カ月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期との比較。なお、アルジェリア・アゼルバイジャン・ドイツ・ハンガリー・アイルランド・イタリア・モロッコ・オランダ・ロシア・南アフリカに関するデータは 2022 年 1 月から 5 月までの平均ベース。

² 特に言及がない限り、日本における市場シェアは、Combustibles、HTS(heated tobacco sticks)及び Infused(Infused-tobacco capsules)を含み、ロシアにおける販売数量及び市場シェアは、RMC 及び HTS(heated tobacco sticks)を含みます。

³ 出典：JT グループ内部データ。RMC 及び HTS を対象とする 2022 年 1-6 月期の対前年同期比較。

医薬事業

(億円)	2022 年 4-6 月	2021 年 4-6 月	増減率	2022 年 1-6 月	2021 年 1-6 月	増減率
売上収益	180	174	+3.5%	393	371	+6.1%
調整後営業利益	3	-7	-	49	36	+36.8%

2022 年 4-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により、前年同期比 3.5%の増収となりました。
調整後営業利益については、売上収益の増収により、前年同期比で 10 億円増となりました。

2022 年 1-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

4-6 月期と同様の要因により、売上収益は前年同期比 6.1%の増収、調整後営業利益については前年同期比 36.8%の増益となりました。

加工食品事業

(億円)	2022 年 4-6 月	2021 年 4-6 月	増減率	2022 年 1-6 月	2021 年 1-6 月	増減率
売上収益	378	367	+3.1%	735	704	+4.3%
調整後営業利益	10	11	-7.9%	14	15	-0.2%

2022 年 4-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、主に冷食・常温事業の価格改定により、前年同期比 3.1%の増収となりました。
調整後営業利益については、売上収益の増収があるものの、原材料費等の大幅な高騰やネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比 7.9%の減益となりました。

2022 年 1-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、主に冷食・常温事業の価格改定を含むトップライン伸長により、前年同期比 4.3%の増収となりました。
調整後営業利益については、売上収益の増収及び前年に計上した子会社の工場火災損失の剥落等があるものの、原材料費等の大幅な高騰やネガティブな為替影響を受けたこと等により、前年同期比でほぼ同水準となりました。

2022 年度 修正見込

全社実績

(億円)	2022 年 今回見込	2022 年 当初見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	24,860	23,150	+1,710	+6.9%
調整後営業利益	6,250	6,110	+140	+2.4%
営業利益	5,490	5,340	+150	+10.0%
当期利益	3,620	3,560	+60	+6.9%
フリー・キャッシュ・フロー	3,880	3,420	+460	-
為替一定ベース core revenue	22,480	22,290	+190	+0.7%
為替一定ベース 調整後営業利益	6,040	6,350	-310	-1.1%
基本的 EPS (円) *	203.97	200.62	+3.36	+6.9%

*基本的 EPS は当期利益を基に算定

- **売上収益**
 財務報告ベースの売上収益については、全ての事業における上方修正により、当初見込より 1,710 億円上方修正し、前年度比 6.9%増の 2 兆 4,860 億円を見込んでいます。なお、為替影響は、売上収益に対してポジティブに作用することを想定しています。
- **調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、たばこ事業及び加工食品事業の下方修正により、当初見込より 310 億円下方修正し、前年度比 1.1%減の 6,040 億円を見込んでいます。
 財務報告ベースでの調整後営業利益は、為替前提を見直したことにより、当初見込より 140 億円上方修正し、前年度比 2.4%増の 6,250 億円を見込んでいます。
- **営業利益及び当期利益**
 営業利益については、調整後営業利益を上方修正したことにより、当初見込より 150 億円上方修正し、前年度比 10.0%増の 5,490 億円を見込んでいます。
 当期利益については、営業利益の上方修正により、当初見込より 60 億円上方修正し、前年度比 6.9%増の 3,620 億円を見込んでいます。
- **フリー・キャッシュ・フロー**
 フリー・キャッシュ・フローについては、調整後営業利益の増加及び運転資本の改善により、当初見込より 460 億円上方修正し、3,880 億円を見込んでいます。

事業別見込

たばこ事業

(億円)	2022 年 今回見込	2022 年 当初見込	対当初見込	対前年実績
自社たばこ製品売上収益	21,480	19,860	+1,620	+7.3% (+0.4%)*
調整後営業利益	6,550	6,400	+150	+2.5% (-0.8%)*

*為替一定円ベース 対前年度増減率

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、JPY/USD のポジティブな為替影響及び力強いプライシング効果により、当初見込より 1,620 億円上方修正し、前年度比 7.3%の増加となる見込みです。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年度比 0.4%の増加となる見込みです。

調整後営業利益は、JPY/USD のポジティブな為替影響により、当初見込より 150 億円上方修正し、前年度比 2.5%の増加となる見込みです。為替一定ベースの調整後営業利益は、サプライチェーン関連コストの増加影響により、前年度比 0.8%の減少となる見込みです。

- **販売数量**

総販売数量は、RRP カテゴリに対する継続的な投資により RRP 販売数量は増加するものの、Combustibles 総需要が減少するといった当初見込から変更はなく、前年度比 3%程度の減少を見込んでいます。

医薬事業

(億円)	2022 年 今回見込	2022 年 当初見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	825	815	+10	+2.6%
調整後営業利益	100	100	-	-9.9%

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、円安による海外ロイヤリティ収入の上振れ及び当社連結子会社の鳥居薬品の増収見込を織り込み、10 億円上方修正し、前年度比 2.6%の増収を見込んでいます。
調整後営業利益は、売上収益を上方修正したものの、研究開発費等の増加により当初見込からの変更はなく、前年度比 9.9%の減益を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2022 年 今回見込	2022 年 当初見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	1,540	1,530	+10	+4.6%
調整後営業利益	20	25	-5	-49.4%

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、主に冷食・常温事業の下期に予定している追加の価格改定を織り込み、10 億円上方修正し、前年度比 4.6%の増収を見込んでいます。
調整後営業利益については、売上収益を上方修正したものの、下期における原材料費等の更なる高騰を織り込み、5 億円下方修正し、前年度比 49.4%の減益を見込んでいます。

データシート

2022年度 第2四半期実績

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2022 Q2累計	2021 Q2累計	増減	増減率
売上収益	12,668	11,445	+1,223	+10.7%
営業利益	3,830	3,221	+609	+18.9%
調整後営業利益	4,149	3,582	+566	+15.8%
税引前利益	3,610	3,141	+469	+14.9%
四半期利益	2,641	2,252	+389	+17.3%
基本的EPS* (円)	148.80	126.92	+21.88	+17.2%

*四半期利益を基に算定

(参考)

(単位：億円)

	2022 Q2累計	2021 Q2累計	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	11,420	11,010	+410	+3.7%
為替一定ベース調整後営業利益	3,867	3,582	+285	+8.0%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2022 Q2累計	2021 Q2累計	増減	増減率
全社 売上収益	12,668	11,445	+1,223	+10.7%
たばこ事業	11,530	10,361	+1,168	+11.3%
自社たばこ製品売上収益	11,053	9,926	+1,126	+11.3%
医薬事業	393	371	+22	+6.1%
加工食品事業	735	704	+30	+4.3%
その他	11	9	+2	+23.2%
全社 営業利益	3,830	3,221	+609	+18.9%
たばこ事業	3,903	3,377	+526	+15.6%
医薬事業	49	38	+11	+29.5%
加工食品事業	4	5	-1	-11.3%
その他/消去	-126	-198	+72	-
調整合計	-319	-361	+43	
たばこ事業	-348	-350	+2	
医薬事業	-	2	-2	
加工食品事業	-10	-10	-1	
その他/消去	39	-4	+43	
全社 調整後営業利益	4,149	3,582	+566	+15.8%
たばこ事業	4,251	3,727	+524	+14.1%
医薬事業	49	36	+13	+36.8%
加工食品事業	14	15	-0	-0.2%
その他/消去	-166	-195	+29	-

2022年度 第2四半期実績

3. 減価償却費及び償却費*

(単位：億円)

	2022 Q2累計	2021 Q2累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	863	819	+43
たばこ事業	797	757	+40
医薬事業	24	25	-0
加工食品事業	33	30	+2
その他/消去	9	8	+2

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2022年6月末	2021年12月末	増減
資産合計	66,489	57,742	+8,747
資本合計	37,546	28,861	+8,685
親会社の所有者に帰属する持分	36,771	28,093	+8,679
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	2,071.80	1,583.10	+488.70

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2022年6月末	2021年12月末	増減
手元流動性	7,587	7,302	+285
有利子負債	10,024	9,186	+838

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2022 Q2累計	2021 Q2累計	増減
営業キャッシュフロー	1,102	1,749	-647
投資キャッシュフロー	-388	-465	+76
財務キャッシュフロー	-1,582	-2,127	+545
現金及び現金同等物の期首残高	7,217	5,388	+1,829
現金及び現金同等物に係る換算差額等	1,138	261	+876
現金及び現金同等物の期末残高	7,487	4,807	+2,680
FCF	730	1,254	-524

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2022 Q2累計	2021 Q2累計	増減
資本的支出	363	388	-25
たばこ事業	283	297	-14
医薬事業	8	40	-32
加工食品事業	40	39	+1
その他/消去	33	12	+20

8. 為替

	2022 Q2累計	2021 Q2累計	増減	増減率
100円/USD	0.81	0.93	-0.12	14.2%高
100円/RUB	62.56	68.92	-6.36	10.2%高
100円/GBP	0.63	0.67	-0.04	6.7%高
100円/EUR	0.74	0.77	-0.03	3.4%高
100円/CHF	0.77	0.84	-0.07	9.6%高
100円/TWD	23.36	26.01	-2.65	11.3%高
100円/TRY	*	7.29	*	
100円/PHP	42.43	44.76	-2.33	5.5%高

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2022年6月末日レートを採用。

(100円/TRY：12.20、参考 100円/USD：0.73)

2022年度 修正見込
(2022/7/29公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2022 修正見込	2021 実績	増減	増減率
売上収益	24,860	23,248	+1,612	+6.9%
営業利益	5,490	4,990	+500	+10.0%
調整後営業利益	6,250	6,104	+146	+2.4%
当期利益	3,620	3,385	+235	+6.9%

(参考)

(単位：億円)

	2022 修正見込	2021 実績	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	22,480	22,317	+163	+0.7%
為替一定ベース調整後営業利益	6,040	6,104	-64	-1.1%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2022 修正見込	2021 実績	増減	増減率
基本的EPS*	203.97	190.76	+13.21	+6.9%
1株当たり配当金	150	140	+10	+7.1%
ROE*	12.2%	12.7%	-0.5ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別見込

(単位：億円)

	2022 修正見込	2021 実績	増減	増減率
全社 売上収益	24,860	23,248	+1,612	+6.9%
たばこ事業	22,470	20,951	+1,519	+7.2%
自社たばこ製品売上収益	21,480	20,020	+1,460	+7.3%
医薬事業	825	804	+21	+2.6%
加工食品事業	1,540	1,472	+68	+4.6%
その他	25	21	+4	+20.3%
全社 営業利益	5,490	4,990	+500	+10.0%
たばこ事業	5,850	5,224	+626	+12.0%
医薬事業	100	113	-13	-11.5%
加工食品事業	10	29	-19	-65.8%
その他/消去	-470	-376	-94	-
全社 調整後営業利益	6,250	6,104	+146	+2.4%
たばこ事業	6,550	6,392	+158	+2.5%
医薬事業	100	111	-11	-9.9%
加工食品事業	20	40	-20	-49.4%
その他/消去	-420	-439	+19	-

**2022年度 修正見込
(2022/7/29公表)**

4. FCF

(単位：億円)

	2022 修正見込	2021 実績	増減
FCF	3,880	4,820	-940

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2022 修正見込	2021 実績	増減
資本的支出	1,210	1,009	+201
たばこ事業	980	825	+155
医薬事業	30	60	-30
加工食品事業	120	107	+13
その他/消去	80	17	+63

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・ 2022年の総販売数量：対前年で3%程度の減少(2021年の総販売数量は5,288億本)
- ・ 2022年のGFB販売数量：対前年で1%程度の減少(2021年のGFB販売数量は3,558億本)

<為替前提レート>

	2022 修正見込	2021 実績	増減	増減率
100円/USD	0.79	0.91	-0.12	15.0%高
100円/RUB	64.50	67.10	-2.60	4.0%高
100円/GBP	0.61	0.66	-0.05	8.5%高
100円/EUR	0.73	0.77	-0.04	5.4%高
100円/CHF	0.75	0.83	-0.08	11.0%高
100円/TWD	23.00	25.45	-2.45	10.6%高
100円/TRY	*	8.02	*	
100円/PHP	41.30	44.85	-3.55	8.6%高

2022年度 修正見込 vs 当初見込
(2022/7/29公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2022 今回見込	2022 当初見込	増減	増減率
売上収益	24,860	23,150	+1,710	+7.4%
営業利益	5,490	5,340	+150	+2.8%
調整後営業利益	6,250	6,110	+140	+2.3%
当期利益	3,620	3,560	+60	+1.7%

(参考)

(単位：億円)

	2022 今回見込	2022 当初見込	増減	増減率
為替一定ベースcore revenue	22,480	22,290	+190	+0.9%
為替一定ベース調整後営業利益	6,040	6,350	-310	-4.9%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2022 今回見込	2022 当初見込	増減	増減率
基本的EPS*	203.97	200.62	+3.36	+1.7%
1株当たり配当金	150	150	-	-
ROE*	12.2%	12.5%	-0.3ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2022 今回見込	2022 当初見込	増減	増減率
全社 売上収益	24,860	23,150	+1,710	+7.4%
たばこ事業	22,470	20,780	+1,690	+8.1%
自社たばこ製品売上収益	21,480	19,860	+1,620	+8.2%
医薬事業	825	815	+10	+1.2%
加工食品事業	1,540	1,530	+10	+0.7%
その他	25	25	-	-
全社 営業利益	5,490	5,340	+150	+2.8%
たばこ事業	5,850	5,720	+130	+2.3%
医薬事業	100	100	-	-
加工食品事業	10	20	-10	-50.0%
その他/消去	-470	-500	+30	-
全社 調整後営業利益	6,250	6,110	+140	+2.3%
たばこ事業	6,550	6,400	+150	+2.3%
医薬事業	100	100	-	-
加工食品事業	20	25	-5	-20.0%
その他/消去	-420	-415	-5	-

2022年度 修正見込 vs 当初見込
(2022/7/29公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2022 今回見込	2022 当初見込	増減
FCF	3,880	3,420	+460

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2022 今回見込	2022 当初見込	増減
資本的支出	1,210	1,310	-100
たばこ事業	980	1,060	-80
医薬事業	30	30	-
加工食品事業	120	125	-5
その他/消去	80	95	-15

6. 業績予想の主な前提条件の修正

たばこ事業	今回見込	当初見込
総販売数量	3%程度の減少	
GFB販売数量	1%程度の減少	2%程度の減少

<為替前提レート>

	2022 今回見込	2022 当初見込	増減	増減率
100円/USD	0.79	0.88	-0.08	10.7%高
100円/RUB	64.50	70.20	-5.70	8.8%高
100円/GBP	0.61	0.64	-0.03	4.9%高
100円/EUR	0.73	0.76	-0.03	4.1%高
100円/CHF	0.75	0.80	-0.05	6.7%高
100円/TWD	23.00	24.55	-1.55	6.7%高
100円/TRY	*	13.15	*	
100円/PHP	41.30	45.60	-4.30	10.4%高

たばこ事業データ

1. サマリー

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	1,285	1,342			2,628	億本
(前年同期比)	+1.2%	-1.8%			-0.4%	
Combustibles販売数量	1,266	1,322			2,587	億本
(前年同期比)	+1.0%	-2.0%			-0.6%	
GFB販売数量	874	918			1,792	億本
(前年同期比)	+3.7%	+0.6%			+2.1%	
RRP販売数量	20	21			40	億本
(前年同期比)	+16.0%	+13.6%			+14.5%	
自社たばこ製品売上収益	5,020	6,032			11,053	億円
(前年同期比)	+6.1%	+16.1%			+11.3%	
	(+3.4%)*	(+3.7%)*			(+3.6%)*	
RRP関連売上収益	191	201			391	億円
(前年同期比)	+2.4%	+0.6%			+1.4%	
調整後営業利益	1,973	2,278			4,251	億円
(前年同期比)	+8.3%	+19.6%			+14.1%	
	(+3.4%)*	(+9.5%)*			(+6.5%)*	

*為替一定ベース

2. 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	4,731	5,195			9,926
数量差	-93	-164			-257
価格差/Mix	+256	+356			+612
2022為替一定	4,894	5,387			10,281
FX	+126	+645			+771
2022	5,020	6,032			11,053

3. 調整後営業利益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,823	1,904			3,727
数量差	-73	-153			-226
価格差/Mix	+225	+369			+593
その他	-89	-35			-124
2022為替一定	1,886	2,084			3,970
FX	+88	+194			+281
2022	1,973	2,278			4,251

たばこ事業データ

4. クラスター別構成（前年同期比）

販売数量														(億本)	
	Q1			Q2			Q3			Q4			Q2YTD		
Asia	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.	
総販売数量	315	328	-4.1%	317	338	-6.1%	358			308			632	-5.1%	
GFB販売数量	187	196	-4.5%	192	201	-4.6%	214			183			379	-4.5%	
Western Europe	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.	
総販売数量	275	287	-4.3%	284	302	-6.0%	287			258			559	-5.2%	
GFB販売数量	187	188	-0.6%	194	196	-1.1%	183			168			381	-0.9%	
EMA	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.	
総販売数量	696	655	+6.2%	741	728	+1.9%	756			695			1,437	+4.0%	
GFB販売数量	500	459	+8.9%	532	515	+3.3%	547			508			1,032	+5.9%	

財務	(億円)													
	Q1			Q2			Q3			Q4			Q2YTD	
Asia	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,929	1,941	-0.6% (-2.9%)*	2,075	2,003	+3.6% (-0.7%)*	2,163			1,816			4,005	+1.5% (-1.8%)*
調整後営業利益	757	767	-1.3% (-1.5%)*	807	766	+5.4% (+2.4%)*	806			353			1,565	+2.1% (+0.5%)*
Western Europe	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,252	1,224	+2.3% (-1.2%)*	1,427	1,382	+3.3% (-2.3%)*	1,294			1,132			2,679	+2.8% (-1.8%)*
調整後営業利益	612	578	+6.0% (+3.0%)*	670	651	+2.9% (-0.4%)*	575			276			1,282	+4.4% (+1.2%)*
EMA	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,839	1,566	+17.5% (+14.9%)*	2,530	1,811	+39.7% (+13.2%)*	1,938			1,751			4,369	+29.4% (+14.0%)*
調整後営業利益	604	478	+26.3% (+11.8%)*	800	487	+64.3% (+33.8%)*	520			134			1,404	+45.5% (+22.9%)*
*為替一定ベース														

*為替一定ベース

上記2021年度実績の数値は、未監査の数値であり今後更新される可能性があります。

たばこ事業データ

5. クラスター別自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,941	2,003			3,944
数量差	-84	-94			-178
価格差/Mix	+28	+79			+107
2022為替一定	1,885	1,988			3,873
FX	+44	+88			+132
2022	1,929	2,075			4,005

Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,224	1,382			2,606
数量差	-64	-124			-188
価格差/Mix	+50	+92			+142
2022為替一定	1,210	1,350			2,559
FX	+42	+77			+120
2022	1,252	1,427			2,679

EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,566	1,811			3,377
数量差	+56	+54			+110
価格差/Mix	+178	+185			+363
2022為替一定	1,800	2,050			3,849
FX	+40	+480			+520
2022	1,839	2,530			4,369

6. クラスター別調整後営業利益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	767	766			1,533
数量差	-64	-78			-142
価格差/Mix	+27	+76			+103
その他	+26	+21			+47
2022為替一定	756	785			1,541
FX	+1	+23			+24
2022	757	807			1,565

Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	578	651			1,229
数量差	-39	-93			-132
価格差/Mix	+48	+90			+138
その他	+9	+0			+9
2022為替一定	595	648			1,243
FX	+17	+22			+39
2022	612	670			1,282

EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	478	487			965
数量差	+30	+18			+48
価格差/Mix	+150	+203			+353
その他	-124	-56			-180
2022為替一定	535	651			1,186
FX	+69	+149			+218
2022	604	800			1,404

たばこ事業データ

7. ブランド別 GFB販売数量（前年同期比）

（億本）

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
Winston	447 +3.8%	472 +1.0%			920 +2.3%
Camel	202 +15.1%	211 +6.6%			413 +10.6%
MEVIUS	109 -2.9%	114 -2.8%			223 -2.9%
LD	116 -6.8%	121 -7.1%			236 -6.9%

8. 実績為替レート（前年同期比）

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
100JPY/USD	0.86 9.7%高	0.76 19.3%高			0.81 14.2%高
100JPY/RUB	73.74 5.0%安	51.38 31.9%高			62.56 10.2%高
100JPY/GBP	0.64 6.7%高	0.61 6.6%高			0.63 6.7%高
100JPY/EUR	0.77 2.1%高	0.72 4.8%高			0.74 3.4%高
100JPY/CHF	0.79 7.4%高	0.74 11.9%高			0.77 9.6%高
100JPY/TWD	24.05 10.0%高	22.67 12.7%高			23.36 11.3%高
100JPY/TRY	11.95 41.9%安	*			*
100JPY/PHP	44.29 2.8%高	40.57 8.4%高			42.43 5.5%高

現地通貨 vs 円増減率：（前年同期の現地通貨レート／各期の現地通貨レート）-1で算出

IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2022年6月末日レートを適用。
（100円/TRY：12.20、参考 100円/USD：0.73）

たばこ事業データ

9. Key markets

Source: IRI, Logista, Nielsen, Panel Strator及びJTグループ内部データ / 出典の過去データ修正も反映しています。

イタリア・ロシアのシェアに関するデータは2022年1月から5月までの平均ベースです。

日本

Volume evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量	145	157			302
	-9.2%	-8.0%			-8.6%
Combustibles販売数量	131	142			273
	-12.1%	-11.0%			-11.5%
RRP販売数量	14	15			29
	+33.0%	+35.0%			+34.0%
HTS販売数量	8	9			17
	+129.5%	+116.5%			+122.3%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	42.1%	42.1%			42.1%	-2.8ppt
Combustibles SoS	57.2%	57.3%			57.2%	-2.3ppt
GFB	38.8%	39.0%			38.9%	-1.8ppt
Winston	6.7%	6.6%			6.7%	-0.4ppt
MEVIUS	26.7%	26.8%			26.8%	-0.7ppt
Seven Stars	7.3%	7.2%			7.3%	-0.1ppt
Camel	5.3%	5.6%			5.4%	-0.6ppt
RRP SoS	12.0%	11.9%			12.0%	+2.1ppt
HTS SoS	7.2%	7.6%			7.4%	+3.7ppt
Total SoV	43.0%	42.9%			42.9%	-2.4ppt

フィリピン

Volume evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量	69	60			128
	-3.1%	-13.8%			-8.4%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	36.3%	37.0%			36.6%	+0.5ppt
GFB	12.6%	13.4%			13.0%	+0.5ppt
Winston	10.5%	10.9%			10.7%	+0.1ppt
Camel	2.0%	2.4%			2.2%	+0.4ppt
Total SoV	34.0%	35.2%			34.5%	+2.1ppt

台湾

Volume evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量	36	36			72
	-0.2%	+1.8%			+0.8%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	48.7%	48.7%			48.7%	+0.6ppt
GFB	40.1%	40.1%			40.1%	+0.4ppt
Winston	13.7%	13.8%			13.8%	+0.1ppt
LD	7.4%	7.5%			7.4%	+0.1ppt
MEVIUS	18.9%	18.8%			18.9%	+0.3ppt
Total SoV	53.0%	53.0%			53.0%	+0.6ppt

たばこ事業データ

イタリア

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	48	47			95
	-2.0%	-4.0%			-3.0%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	27.3%	27.1%			27.2%	+0.9ppt
GFB	22.7%	22.6%			22.6%	+0.9ppt
Winston	14.1%	14.4%			14.3%	+1.4ppt
Camel	8.5%	8.2%			8.4%	-0.5ppt
Total SoV	26.8%	26.6%			26.8%	+0.8ppt

スペイン

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	40	43			83
	+5.0%	+2.9%			+3.9%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	28.5%	28.4%			28.4%	+0.8ppt
GFB	26.4%	25.7%			26.0%	+0.3ppt
Winston	14.9%	14.4%			14.6%	-0.5ppt
Camel	11.4%	11.3%			11.4%	+0.7ppt
Total SoV	28.3%	28.1%			28.2%	+1.1ppt

英国

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	48	48			95
	-11.6%	-20.1%			-16.1%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	45.2%	45.0%			45.1%	-0.6ppt
GFB	0.1%	0.1%			0.1%	-0.0ppt
Amber Leaf	11.8%	11.2%			11.5%	-1.5ppt
Sterling	13.7%	13.6%			13.6%	+0.3ppt
Benson & Hedges	10.2%	10.6%			10.4%	+0.6ppt
Total SoV	45.8%	45.6%			45.7%	-0.1ppt

たばこ事業データ

ルーマニア

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	16	19			35
	+2.3%	+1.0%			+1.6%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	30.1%	29.4%			29.7%	+0.2ppt
GFB	17.3%	16.8%			17.0%	+0.0ppt
Wisnton	15.2%	14.8%			15.0%	+0.4ppt
Camel	1.3%	1.3%			1.3%	-0.0ppt
Total SoV	30.5%	29.9%			30.2%	+0.5ppt

ロシア*

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	184	195			379
	-1.3%	-5.5%			-3.5%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	36.5%	36.4%			36.4%	-0.3ppt
GFB	27.1%	27.2%			27.1%	+1.7ppt
Winston	12.0%	11.9%			12.0%	-1.0ppt
Camel	7.4%	7.7%			7.5%	+4.0ppt
LD	7.7%	7.6%			7.6%	-1.3ppt
Total SoV	37.3%	37.2%			37.3%	-0.1ppt

*ロシアにおけるSoM及びSoVは、RMC及びheated tobacco sticksを含みます。

トルコ

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	67	87			155
	-1.7%	+5.3%			+2.2%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	28.0%	28.0%			28.0%	+0.3ppt
GFB	25.5%	25.5%			25.5%	+0.4ppt
Wisnton	16.6%	17.0%			16.8%	+1.8ppt
Camel	6.4%	6.2%			6.3%	-0.9ppt
LD	2.4%	2.3%			2.4%	-0.6ppt
Total SoV	27.1%	27.3%			27.2%	+0.5ppt

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2022年7月29日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	乳幼児アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase3 (国内)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)		
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
				Phase2 (海外)		
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /外用	ROR γ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を 担うROR γ を阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及 び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-061 (Tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体 (AhR) を活性化 し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3 (国内)	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			Phase3 (国内)		
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase2 (国内)		

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時（2022年4月28日）からの変更点

なし

用語の定義

用語	定義
売上収益	たばこ税及びその他の代理取引取扱高を除いた売上収益
為替一定ベース core revenue	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益＋医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
調整後営業利益	営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目（収益及び費用）＊ ＊調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
四半期利益／当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
自社たばこ製品売上収益	物流事業／製造受託等を除く売上収益
RRP 関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Products の売上
Combustibles	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vapor を除く可燃性のたばこ製品
RMC	紙巻たばこ（Ready-Made-Cigarettes）
Fine cut tobacco (FCT)	一般的にお客様ご自身で、巻紙を用いて手巻きする、または、器具と筒状の巻紙を用いて RMC を作成するための刻みたばこ
シガリロ	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMC と同様の形態に巻き上げた製品。日本マーケットにおいてはリトルシガーとも呼ばれ、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおける heated tobacco sticks (HTS), infused-tobacco capsules (Infused), E-Vapor, Oral 製品等が含まれる
加熱式たばこ	たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を楽しむ製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1 スティック＝RMC1 本として換算
Infused tobacco capsules (Infused)	低温加熱型の加熱式たばこ。1 パック当たり RMC20 本として換算
E-Vapor／電子たばこ	たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド（液体）を電気加熱させ、発生するペーパー（蒸気）を楽しむ製品。クローズドタンク製品においては、1 カプセル当たり RMC20 本として換算。オープンタンク製品においては、リフィル 10ml 当たり RMC100 本として換算
無煙たばこ	口腔内で味・香りを楽しむたばこ製品（日本では嗅ぎたばこに分類）で、粉状にしたたばこ葉を包んだポーションと呼ばれる袋を口に含むものは Snus、たばこ葉を使わずニコチンを含んだパウチを口腔内で楽しむニコチンパウチと呼ぶ。Snus 及びニコチンパウチ 1 パウチ＝RMC1 本として換算
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランドが含まれる

総販売数量	水たばこ／製造受託／RRP デバイス及び関連アクセサリーを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles 販売数量	水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（Snus・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量
GFB 販売数量	GFB（Global Flagship Brand）に含まれる Winston、Camel、MEVIUS、LD の Combustibles 及び Snus 製品の販売数量
RRP 販売数量	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMCとして換算）。デバイス/関連アクセサリー等は含まない
HTS 販売数量	Heated tobacco sticks (HTS)の販売本数。デバイス/関連アクセサリー等は含まない
売上シェア（SoV）	販売数量と税込小売価格を掛け合わせて算出される、市場の総小売価格に対するシェア
たばこ総需要／総需要	市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計）
Combustibles 総需要	市場全体における combustibles の本数ベースの市場規模（自社推計）
RRP 総需要	市場全体における Reduced-Risk Products (RRP)の本数ベース（RMCとして換算）の市場規模（自社推計）
クラスター	JT グループのたばこ事業をより深く理解していただくために、同事業を 3 地域（Asia, Western Europe, EMA）に区分けしたものだ。なお、これらのクラスターは、JT グループの経営体制を反映したものではない - Asia：日本を含むアジア全域 - Western Europe (WE)：西欧地域 - EMA：東欧、中近東、アフリカ、トルコ、南北アメリカ大陸及び Global Travel Retail を含む
Global Travel Retail (GTR)	従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。GTR でのパフォーマンスは、EMA クラスターに含まれる。
手元流動性	現預金＋短期保有の有価証券＋現先
有利子負債	短期借入金＋コマーシャルペーパー＋長期借入金＋社債
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー ただし以下を除く - 営業活動キャッシュ・フローから、リース取引から生じる減価償却費／利息及び配当金の受取額とその税額影響／リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響／その他 - 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出／投資の売却及び償還による収入／定期預金の預入による支出／定期預金の払出による収入／その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com